

何を使う

機器 ①タブレット(スマートフォン) ②プロジェクター ③スクリーン

ソフトウェア (アプリ)

Post-it® iPhone、iPad、android 対応



それをどう使う (それで何ができる)

- 付箋を画像として取り込んだ後、付箋1枚1枚を簡単に拡大表示したり、グループ分けしたりできる。
- 授業や校内研修など様々な場面で活用できる。
- ブレインストーミングやKJ法によって話し合った内容を全体で共有することができる。



ここが変わる、活用メリット【ICT 活用 Before-After】

高校 地歴公民科 「話し合い活動」

【 Before 】

- 話し合った意見等について、模造紙を用いて発表するなどして全体で共有する。



【 After 】 メリット

- 話し合って集約した意見を分類して生徒の発表を補助したり、付箋の画像を拡大して内容を焦点化したりするなど、生徒の意見を基に授業を組み立てることで、生徒の自信につながり、自己肯定感を向上させることができる。
- 無記名で箇条書きでもよいという条件を加えることで、自分の意見を書きやすくなるなど、発表等への抵抗感が軽減されるため、生徒が主体的に学習に取り組む姿勢を身に付けることができる。

機器 (台数)	スマホ	タブレット	PC	その他	学習 場面	一 斉	個 別	協 働
	○	○		拡大表示用のディスプレイ又はプロジェクター				
	一斉の場合は1台でも可、グループの場合は各グループ1台					○		○
授業実施時に必要な環境→				インターネット接続		1人1台端末		
活用が想定 される校種	小	中	高	特	活用が想定される教科・科目等	どの教科でも		
	○	○	○	○	活用が想定される場面	話し合い活動		